

令和 6 年度

一般入学志願者募集要項

山形県立寒河江工業高等学校

〒991-8512 寒河江市緑町148番地

電話 (0237) 86-4278

I 募集要項

1 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- (1) ものづくりに興味・関心があり、専門的な知識や技術を身に付けたい生徒を募集します。
- (2) 工業分野で活躍できるエンジニアへとキャリアアップしたい生徒を募集します。
- (3) 対話の重要性を理解し、状況に応じた挨拶や対話ができるようになりたい生徒を募集します。
- (4) 地域の祭りやボランティア活動に参加するなど、地域とのつながりを大切にしたい生徒を募集します。
- (5) 心身を健康に保ち、熱心かつ継続的に活動に取り組みたい生徒を募集します。

2 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和 6 年 3 月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和 6 年度推薦入学者選抜又は中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

3 設置課程・学科及び入学定員

- (1) 課 程 全日制の課程
- (2) 学科及び入学定員

募 集 学 科	メカニカルエンジニア科	ロボットエンジニア科	I T エンジニア科
入 学 定 員	40 名	40 名	40 名

4 出 願 手 続 き

(1) 出願に必要な書類

- | | | |
|------------|---|-------|
| A 共通に必要な書類 | ① 一般入学願書 | ② 調査書 |
| B 個別に必要な書類 | ① 自己申告書（本校校長が提出を認めたとき） | |
| C その他の書類 | ① 中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和4年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。 | |

(2) 受付期間

令和 6 年 2 月 16 日（金）から 2 月 22 日（木）12 時まで。

(3) 書類の提出については、次の事項に注意すること。

- ① 一般入学願書には、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼ること。ただし、消印はしない。本校の推薦入学者選抜に漏れた者で、同一学科及び異なる学科の一般入学者選抜を志願する者は、入学者選抜手数料の納付は要しないが、新たに一般入学願書を提出すること。
なお、先に交付された受検票は中学校長を経由して、新たに提出する一般入学願書とともに提出する。
- ② 書類は、在籍又は出身中学校長を経由して提出すること。
なお、公私立高等学校に在籍のまま志願する者は在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- ③ 中学校長は「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて提出すること。
なお、推薦入学者選抜及び連携型入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて提出する。その際、本校校長が新たに受検票を交付する。
- ④ 推薦入学者選抜の志願にかかわって、調査書、評定概況、及び、必要と認めた場合の自己申告書を提出済の場合は、新たに提出する必要はない。
- ⑤ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル（dB）」及び学力検査において配慮を必要とする事項を、志願者名を記した公文書に記入すること。
- ⑥ 取消しや締切り前における志願変更は、必ず公文書を添えて行うこと。

- ⑦ 郵送の場合でも締切日時までに必着とする。郵送の場合は簡易書留郵便とし、出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用封筒に、「簡易書留」および「受検票在中」と朱書きしたものを同封すること。封筒の大きさ、郵送料については事前に本校教務部に問い合わせること。
- ⑧ 自己申告書については、進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合に提出することができる。自己申告書は本校において準備しているので申し込むこと。

(4) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ① ペン書き又はボールペン書き（青色又は黒色）で本人が記入する。
- ② 保護者氏名は保護者が記入する。
- ③ 一般入学願書・受検票に志望する学科名を志望順に記入する。第3志望まで認める。第2、第3志望がない場合は、右上がりの斜線を引く。
- ④ 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- ⑤ 現住所について、住民票に記載されていないアパート名等がある場合は、備考欄に記入する。
- ⑥ 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- ⑦ 合格通知を受けようとする場合は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

(5) 進路等相談

中学校長及び特別支援学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和6年1月31日（水）17時までに本校校長に、健康及び身体状況、希望学科、進路希望等について相談を行うこと。

5 学 力 検 査

- (1) 検査日 令和6年3月7日（木）
- (2) 集合場所は本校検査場（各教室）とし、生徒昇降口から入場し、8時10分から8時25分までに受付を完了すること。
- (3) 日程は右表のとおりとする。
- (4) 検査場の下見は、実施しない。

時 間	教 科
8:50～9:40	国 語
10:00～10:50	数 学
11:10～12:00	社 会
12:50～13:40	理 科
14:00～14:50 (14:00から約10分間はリスニングテスト)	外 国 語 (英 語)

6 追 検 査

- (1) 追検査は志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日の学力検査等の受検ができず、追検査の受検を希望する者。
- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できなかった者。
- (2) 検査日 令和6年3月12日（火）
- (3) 会場、日程、検査内容は本検査に準ずる。
- (4) 本検査が受検できないと判明したら、速やかに出身又は在籍中学校長に連絡し、追検査の受検手続きを行うこと。
- (5) 手続きに必要な書類は次の①～②とし、3月8日（金）15時までに本校校長あてに提出すること。
- ① 追検査受検願
- ② 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類
- (6) 追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

7 携帯品及び受検上の注意

(1) 携 帯 品

受検票・筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含む）・消しゴム・定規・コンパス・鉛筆削り）・昼食・上ばき。

腕時計の持込みは可とする。ただし、アラーム機能等ついたものは、あらかじめ機能を停止しておくこと。停止できないものは、検査室に持ち込めない。また、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

(2) 注 意

- ① 筆入れ、下敷の使用は認めない。
- ② 芯の濃さは2B・B・HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ③ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
- ④ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。

- ⑤ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。
ただし、携帯電話、スマートフォンについては、連絡手段として持参してもよいが、校内では電源を切り使用してはならない。
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

8 選 抜

選抜の方法

選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

- ① 選抜は、学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行う。
② 調査書中の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は5：5とする。

9 合 格 発 表

令和6年3月17日（日）15時ごろ、受検番号のWebへの公開及び本校での掲示による合格発表を行う。Webへのアクセス方法や掲示場所については、後日連絡する。合格通知書は本人あてに送付する。

合格者オリエンテーション（説明会）は3月26日（火）午前に行う。

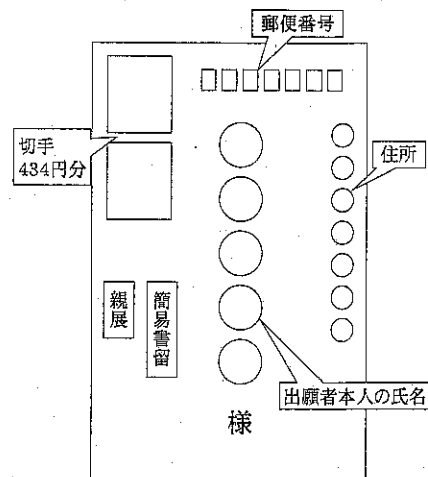
10 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円〕を貼ったもの）を提出すること。

- 募集要項に関して疑問な点は、本校教務部に直接問い合わせること。

《封筒の記載例》



II 参 考 事 項

1 入学後の諸経費（令和5年度の状況）

授業料（年額）

項 目	金 額（円）
授 業 料	118,800

- 9回の分割で納入。
- 就学支援金制度の対象となる生徒は、原則授業料の納付は不要になります。

学校徴収金等（第1学年年額）

項 目	金 額（円）
P T A 会 費	6,000
生 徒 会 費	10,700
後 援 会 費	7,200
学 年 経 費	34,000
各 種 分 担 金	1,800
旅 行 積 立 金	60,000
計	119,700

- 入学時に16,000円納入、残金103,700円については7回の分割で納入。

教科書代（第1学年年額）

選択科目により金額は異なりますが、最大で38,576円ご負担いただきました。

実習費（第1学年年額）

徴収額は科毎に異なりますが、35,500円を最高額として徴収いたしました。
なお、実習費には実習着代や授業で用いる物品代などが含まれます。

制服代

（令和6年度よりデザイン変更のため、予定価格となります。）

男 子 制 服 代	63,340円
女 子 制 服 代	63,990円

体育用品代

体育着・シューズ・Tシャツ	21,600円
---------------	---------

2 教育課程の概要

教科	科目	1 年	2 年	3 年	計	備 考
国 語	現 代 の 国 語	2			2	授業の1単位時間：50分 ▲印：文学国語、政治・経済、化学基礎、論理・表現Ⅰ（外国語）より1科目を選択履修する。
	言 語 文 化		2		2	
	文 学 国 語			▲ 2	0・2	
	国 語 表 現			2	2	
地 理 歴 史	地 理 総 合			2	2	△印：数学Aか各科の工業科目（ロボットエンジニア科は2科目のうち）どちらか1科目を選択履修する。 ◇印：音楽Ⅰか美術Ⅰのどちらか1科目を選択履修する。
	歴 史 総 合		2		2	
公 民	公 共 共 済	2			2	
	政 治 ・ 経 済			▲ 2	0・2	
数 学	数 学 Ⅰ	3			3	△印：数学Aか各科の工業科目（ロボットエンジニア科は2科目のうち）どちらか1科目を選択履修する。
	数 学 Ⅱ		3	2	5	
	数 学 A			△ 2	0・2	
	科学と人間生活	2			2	
理 科	物 理 基 礎		3		3	◇印：音楽Ⅰか美術Ⅰのどちらか1科目を選択履修する。
	化 学 基 礎			▲ 2	0・2	
保 健 体 育	体 育	2	2	3	7	
	保 健	1	1		2	
芸 術	音 楽 Ⅰ	◇ 2			2	教科情報の「情報Ⅰ」は、工業情報数理で代替とする。 3年生の総合的な探究の時間の4単位は、課題研究で代替する。 卒業までに修得すべき教科科目単位数 78単位
	美 術 Ⅰ					
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ		2	2	4	
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ			▲ 2	0・2	
家 庭	家 庭 基 礎	2			2	
各学科に共通する科目（小計）		19	15	13・15	47・49	
※工 業 科 目（小計）		9	14	14・16	37・39	
総 合 的 な 探 究 の 時 間		1	1	(4)	2 (4)	
ホ ー ム ル ー ム 活 動		1	1	1	3	
合 計		30	31	30	91	

※各科の教科工業での科目

学科	教科	科目	1 年	2 年	3 年	計
メカニカルエンジニア科	工 業	工 業 技 術 基 礎	3			3
		課 題 研 究			4	4
		実 習		4	4	8
		製 図	2	2	2	6
		工 業 情 報 数 理	2			2
		機 械 工 作		3		3
		機 械 設 計	2	2	2	6
		原 動 機			2	2
		生 産 技 術		3		3
		自 動 車 工 学			△ 2	0・2
	小 計		9	14	14・16	37・39
ロボットエンジニア科	工 業	工 業 技 術 基 礎	3			3
		課 題 研 究			4	4
		実 習		4	4	8
		製 図	2	2		4
		工 業 情 報 数 理	2			2
		機 械 工 作		3		3
		機 械 設 計			2	2
		電 子 機 械	2	2		4
		生 産 技 術		3		3
	業	自 動 車 工 学			△ 2	0・2
		電 気 回 路			△ 2	0・2
		ハードウェア技術			2	2
		コンピュータシステム技術			2	2
	小 計		9	14	14・16	37・39
I.Tエンジニア科	工 業	工 業 技 術 基 礎	3			3
		課 題 研 究			4	4
		実 習		4	4	8
		製 図		2		2
		工 業 情 報 数 理	2			2
		電 気 回 路	2	2		4
		電 子 技 術		2		2
		通 信 技 術			2	2
		プログラミング技術	2	2	2	6
	業	ハードウェア技術			2	2
		ソフトウェア技術		2		2
		コンピュータシステム技術			△ 2	0・2
	小 計		9	14	14・16	37・39

一般入学願書

山形県収入証紙
(消印無効)

令和 年 月 日

山形県立寒河江工業高等学校長 殿

ふりがな

本人氏名

保護者氏名

貴校全日制の課程

第1志望

科

第2志望

科

第3志望

科

に入学を志願いたします。

本	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所	〒		
	出身(在籍) 学校			
人	卒業 (卒業見込) 年 月	平成 年 月 卒業 令和 年 月 卒業見込 (いずれかを○で囲むこと)	備考	

※ 郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望 有 (個人情報の提供を希望する場合は○を付ける)

(注) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 一般入学願書・受検票に志望する学科名を志望順に記入する。
- 第3志望まで認める。第2、第3志望がない場合は、右上がりの斜線を引く。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票に記載されていないアパート名等がある場合は、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

受検番号

一般入学者選抜 受検票

氏名

学校名

山形県立寒河江工業高等学校長 舟山和彦 印

受検番号

第1志望

科

第2志望

科

第3志望

科